

ごみ

ゼロエミッションシティ広島を目指す

減量 プログラム

110万人のごみゼロ宣言

策定の趣旨

広島市のごみの排出量は年々増加しており、ごみ処理に要する経費の増加や、天然資源の枯渇、地球温暖化が進むなど、地球規模の環境問題を引き起こしています。

将来世代により良い環境を継承していくためには、ごみを可能な限りゼロに近づけ、環境への負荷を極めて小さくするゼロエミッションシティへの転換が必要です。

そこで、ゼロエミッションシティの実現に向け、ごみ減量、リサイクルに取り組むための目標と具体的な行動を示す「減量プログラム」を策定しました。

目標

目標年度 平成20年度〔基準年度:平成14年度〕

3つの目標

目標1 総排出量を20%減

ライフスタイルの変革により
ごみ排出量の削減率を
20%以上に



目標2 リサイクル量を倍増

分別の徹底により
リサイクル量を
約2倍に



目標3 埋立処分量を50%減

減量とリサイクルにより
埋立処分量を
50%以下に



将来世代に

より良い環境を継承していくため

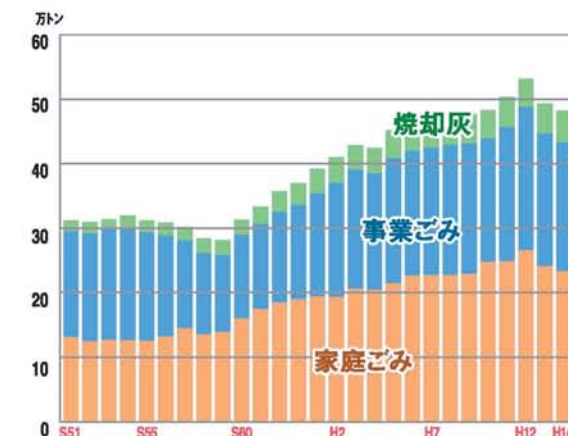
みんなで協力して、ごみの減量、

リサイクルに取り組みましょう!



ちょっとコラム

広島市のごみ処理量の推移



ごみの処理経費

ごみの処理量の増加に伴い、ごみ処理に要する経費も増大し、平成14年度には年間約128億円、1日あたりに換算すると約3,500万円になります。



お問い合わせ

広島市環境局環境政策課

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

TEL 082-504-2505

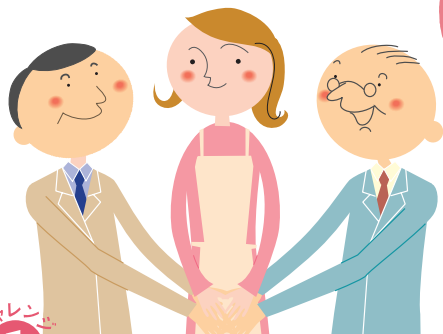
FAX 082-504-2229

URL [http:// www.city.hiroshima.jp/](http://www.city.hiroshima.jp/)

減量プログラムの内容の詳細については
環境政策課で配布しています。
またホームページにも掲載しています。

3つの目標を達成するため 市民・事業者・行政が協力して 次の8つのチャレンジに 取り組みましょう。

目標年度の
平成20年度までに
実施する
主な施策を
掲載しています。



チャレンジ

1 環境意識の向上

市民、事業者の皆さんがごみ問題を自らの問題ととらえて、ごみの減量やリサイクルへの行動に結びつくように環境意識の向上を図るための取組を推進します。

主な取組 エコメイト広島リーダーによるごみ減量等の意識啓発の推進

ごみ問題に関心のある人材(エコメイト広島リーダー)を養成し、ごみ減量等のさまざまな講座等の活動を通じ、ごみ減量の意識啓発、情報発信をバックアップします。

チャレンジ

2 環境教育、環境学習の推進

環境教育、環境学習を学校、地域、家庭と連携をとって進めるなど、総合的、長期的な視野で実施し、ごみゼロ意識を高めていくための取組を推進します。

主な取組 学校給食牛乳パックのリサイクル

児童、生徒による学校給食の牛乳パックのリサイクル体験を通じ、環境教育を推進します。



チャレンジ

3 ルールの徹底によるごみ収集システム等の再構築

ごみの5種類分別の開始から28年が経過する中で生活様式や排出するごみの内容も変化し、また分別の徹底も十分に図られていないことから、ごみの出し方、排出袋などのごみの収集システムなどのルールの再構築を図るための取組を推進します。

主な取組 家庭系容器包装プラスチックリサイクルの推進

プラスチック製の容器や包装のリサイクルを推進します。

事業系紙ごみの清掃工場への搬入規制措置の徹底

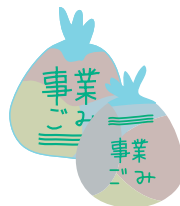
リサイクル可能な紙ごみの清掃工場への搬入規制措置を、抜き取り検査の強化等の実施により徹底します。



事業ごみ指定袋制度等の導入

事業ごみの排出時に、透明、半透明の指定袋を使用し、リサイクル可能な紙ごみ等の分別を徹底します。

指定袋等に処分手数料を付加することで排出者責任を徹底します。



チャレンジ

4 地域・職場等におけるごみ減量等のための活動の推進

地域、職場、学校等において、互いに啓発し合い、実際のごみ減量、リサイクル行動に結び付けていくための取組を推進します。

主な取組 モデル地域での取組の実践

町内会等の協力によりモデル地域においてごみの減量、リサイクルを実践します。

チャレンジ

5 市民、事業者の自主的な活動の支援

市民や環境NPO、地域団体及び事業者などの皆さんが自主的、積極的に活動しやすい環境をつくることにより、自主的なごみ減量、リサイクル活動を支援するための取組を推進します。

主な取組 市民、環境NPO、事業者等のネットワークの形成

市民や環境NPO、事業者等による相互の意見交換やネットワーク化による活動の活性化を推進します。

チャレンジ

6 ライフスタイルの変革に向けた取組の推進

製造者、販売者と消費者及び行政が提携を強化し、ごみにならない商品や長期使用できる商品の開発、流通を進めるなど、製造、販売段階の取組を一層促すための取組を推進します。

主な取組 トレイ等の店頭回収やばら売り、量り売りの推進

スーパーマーケット等の協力を得ながら、トレイ等の店頭回収や、不用品なトレイ類を廃止するため、ばら売り、量り売りを推進します。



レジ袋の有料化等の実施

スーパーマーケット等の協力を得ながら、買い物袋持参運動を強化します。またレジ袋の有料化を期間限定で実施します。

百貨店等の包装類有料化の実施

百貨店等の協力を得ながら、商品の包装サービスや紙袋を有料化し、ごみの発生抑制を推進します。

新聞折込広告の購読者選択制度の実施

新聞販売所の協力を得ながら、新聞購読者が新聞折込広告の配布を選択できる制度を拡充します。



チャレンジ

7 環境負荷を考慮したリサイクルシステム等の構築

現在、焼却施設や最終処分場で処分されているごみを有効な資源として利用していくため、産学官の連携により環境関連産業の振興を図りながら、新たなリサイクルシステムを構築し、リサイクルを進めていくための取組を推進します。

主な取組 事業系生ごみリサイクルの推進

ホテル、スーパーマーケット、学校給食センター等の生ごみリサイクルを推進します。

チャレンジ

8 ごみ減量、リサイクルを推進するしくみづくり

ゼロエミッションシティを推進していくためには、意識啓発やルールの徹底などの方法だけでは限界があり、排出者責任や拡大生産者責任の考えを徹底するしくみづくりや経済的手法の導入などの取組を推進します。

主な取組 家庭ごみ指定袋制度の導入

ごみの排出袋を指定する指定袋制度(実費相当額で販売等)を導入し、ごみの排出量を抑制します。

ごみの排出袋を透明又は半透明とし、ごみの分別を徹底します。

